



令和6年10月17日

広島国道事務所からの
お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ



『時差出勤』で渋滞を攻略！ ～ 時間を少しずらしてゆとりのある通勤を ～

国道54号（広島市安佐南区）は朝の7時45分頃を中心に、通勤を主とした交通が集中し、大変混雑しています。

広島県道路交通渋滞対策部会では、渋滞緩和を図るため、対策検討を進めてきました。インフラのポテンシャルを活かし、賢く利用するため、広島市と連携し、昨年度に引き続き『時差出勤』を推奨する取り組みを実施してまいります。

■通勤で国道54号を利用する皆様へのお願い

期間：令和6年10月21日（月）～10月31日（木）

※1日だけの実施など、参加方法は自由です

①渋滞のピークである**朝7時45分頃を避けた利用**による

スムーズな通勤の実施および渋滞緩和にご協力をお願いします！

②効果検証のため**アンケート調査**にご協力をお願いします！

※詳細については別紙1,2を参照ください。

※取組内容について、国・県・市や商工会議所のHP掲載、SNS、ラジオ、

チラシ配布(沿線への新聞折り込み・留め置き)、立て看板掲示等の広報を実施しています。



アンケート回答サイト
【回答期間】
令和6年10月21日(月)から
11月10日(日)まで

西原駅付近の
交通状況

6時50分頃



7時45分頃



8時30分頃



撮影：
2021年10月21日

(問い合わせ先)

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 河井 知久 (かわい とむひさ)

【担当】計画課長 森 英高 (もり ひでたか)

TEL (082) 281-4133 FAX (082) 286-7897

○広島国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



広島国道事務所
HP



広島国道事務所
X (旧Twitter)

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル 緊急通報 # 9 9 1 0へ



時差出勤による 朝の渋滞緩和に ご協力ください

重点実施期間

令和6年

10月21日(月)～31日(木)

- 国道54号が特に混雑する時間帯(7時30分～8時15分)を避けることで
所要時間を短縮できるほか、イライラ軽減や自然環境の保全なども期待できます
- 公共交通機関の活用もあわせてご検討ください
- 取り組み方法や感想についてのアンケート調査にぜひご協力ください



アンケート調査
回答はこちらから

【回答期間】
令和6年10月21日(月)から
11月10日(日)まで

広島県道路交通渋滞対策部会

お問合せ先(事務局) 国土交通省 広島国道事務所 計画課

☎ 082-281-4133

国道54号の混雑状況

混雑状況は時間帯によって大きく変動します！

国道54号・西原駅付近の交通状況

撮影: 2021年10月21日

6時50分頃



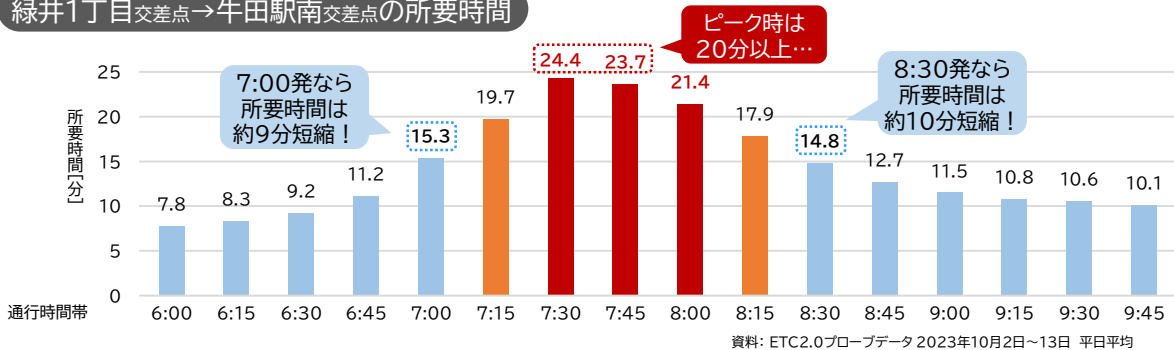
7時45分頃



8時30分頃



緑井1丁目交差点→牛田駅南交差点の所要時間

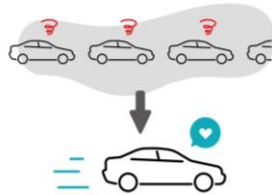


期待されるメリット

温暖化防止や時間短縮効果が期待できます！

時間の効率化

混雑のピーク時間を回避することで
所要時間が短縮でき
朝の時間が効率化！



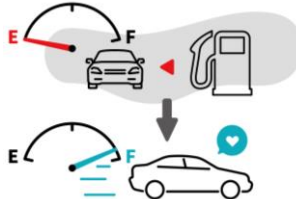
イライラ軽減

通勤時間の短縮や
渋滞の回避により
身体・精神的な
負担が軽減します！



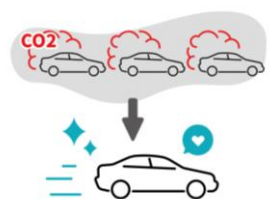
ガソリン代の節約

車の速度向上は
燃費向上につながり
ガソリン代の節約に！



自然環境の保全

燃費の向上や
公共交通の活用で
CO₂排出量を抑制し
地球温暖化の防止に



関連プロジェクトのご案内

マイカー乗るまあデー



広島市では、毎月2、12、22日をマイカー乗るまあデーとし、ノーマイカーデー運動を推進しています。
「マイカー乗るまあデー」は、クルマを利用してはダメというものでなく、クルマに依存するライフスタイルを見直し、市民一人ひとりが上手なクルマの使い方を考え、実践・体験することを通じて、地球温暖化の防止に貢献する行動の輪を広げていく取組です。
環境にやさしい交通行動を実践してみませんか？

出典:広島市HP <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/mycar/>

国道183号の渋滞解消

国道183号も通勤時間帯はとても渋滞しています。
広島市では、安佐南区祇園、山本地区の渋滞解消に係る取組についても進めて行くこととしています。
この度、国道54号の取り組みとの相乗効果を狙い、周辺住民の皆様には時差出勤の呼びかけを行っております。
今後も継続的な広報活動を実施し、渋滞緩和に取り組んでいきます。